

政策分析シート（平成29年度）

政策名	伝統文化の継承と都市間交流の推進	政策No	09	部名	地域文化スポーツ部		
				部長名	池田	内線 3700	
関連部名	総務企画部						
行政評価事業体系	分野	文化創造都市					
目的	区民が主役の芸術文化の振興により区民の幸福実感を高め、区の魅力を内外に発信することで、区民・生活・地域が芸術文化でつながるまちを創る。 有形・無形の文化財の保存や、郷土の歴史や地域について学ぶ機会の提供などにより、伝統文化の継承や新たな文化の創造に向かい、地域、区民と一体となって区の文化力を向上させる。						
指	幸福実感指標名	指標の推移			指標に関する質問文		
		26年度	27年度	28年度			
	充実した余暇・文化活動、地域の人とのふれあいの実感	2.47	2.49	2.53	充実した余暇・文化活動や地域の方とのふれあいのある生活が送れていると感じますか？		
	興味・関心事への取り組み	3.06	3.09	3.07	興味・関心のあることに取り組むことができていると感じますか？		
	生涯学習環境の充実	2.91	2.96	2.94	生涯にわたって学習できる環境が充実していると感じますか？		
	地域への愛着	2.86	2.85	2.92	荒川区の文化や特色に愛着や誇りを感じますか？		
	文化的寛容性	2.57	2.60	2.64	文化や言語が異なる人々への思いやりや寛容さがあると感じますか？		
標	政策の成果とする指標名	指標の推移				指標に関する説明	
		26年度	27年度	28年度	29年度見込み		
	荒川ふるさと文化館利用者数(人)	20,771	23,022	18,455	23,400	25,000	展示室観覧者 + 郷土学習室利用者
	伝統技術展参加職人数(人)	68	72	66	66	68	
	文化祭来場者数(人)	16,573	14,185	14,147	17,000	23,000	
	地域振興事業来場者数(人)	52,925	35,121	52,342	53,500	55,000	芸術文化振興財団(ACC)が行う芸術文化・地域振興事業
	国内交流都市との連携事業数(事業)	25	25	25	26	30	
	海外都市交流事業参加者数(人)	214	299	301	305	320	バスハイク・華道・茶道・着付・料理教室、ウィーン派遣高校生等

(単位：千円)

行政コスト計算書	行政費用	勘定科目	27年度	28年度	差額	勘定科目	27年度	28年度	差額
		給与関係費		184,143		地方税等		0	
		物件費		390,479		国庫支出金		9,430	
		維持補修費		2,472		都支支出金		506	
		扶助費		0		分担金及び負担金		0	
		補助費等		180,595		使用料及び手数料		4,824	
		減価償却費		183,169		その他行政収入		32,365	
		不納欠損・貸倒引当金繰入額		0		行政収入合計(a)		47,125	
		賞与・退職給与引当金繰入額		9,423		行政収支差額(a)-(b)=(c)		903,939	
		その他行政費用		783		金融収支差額(d)		3,859	
		行政費用合計(b)		951,064		通常収支差額(c)+(d)=(e)		907,798	
		特別費用(g)		0		特別収入(f)		0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)		0		当期収支差額(e)+(h)		907,798			
貸借対照表	流動資産	勘定科目	27年度	28年度	差額	勘定科目	27年度	28年度	差額
		収入未済		9,400		流動負債		94,200	
		不納欠損引当金		0		還付未済金		0	
		その他の流動資産		0		特別区債		85,535	
		有形固定資産		4,129,281		賞与引当金		8,665	
		土地		1,618,879		その他の流動負債		0	
		建物		8,149,379		固定負債		1,937,153	
		建物減価償却累計額		5,638,977		特別区債		1,857,465	
		工作物等		0		退職給与引当金		79,688	
		工作物等減価償却累計額		0		その他の固定負債		0	
		無形固定資産		0		負債の部合計		2,031,353	
		建設仮勘定		0		正味財産		3,180,338	
その他の固定資産		1,073,010		正味財産の部合計		3,180,338			
資産の部合計		5,211,691		負債及び正味財産の部合計		5,211,691			

政策の現状・課題・今後の方向性

現状	<p>区民が優れた芸術文化に身近なところでふれ、楽しめるよう芸術文化団体、ACC、東京藝術大学等と連携して、芸術文化の充実を図っている。</p> <p>区では、相互のイベントへの参加、災害時相互応援協定の締結、高校生相互派遣など様々な分野での都市交流を国内外の都市と行っている。</p> <p>区に伝わる有形・無形の文化財の保存、伝統工芸技術の継承支援をするとともに、区民に伝統文化のすばらしさを伝えるための展示や体験事業等を行っている。</p>
課題	<p>区内の芸術文化団体等では、構成員の高齢化が進み、活動の縮小や休止を余儀なくされる団体もあるため、より多くの区民や若者等の参加を促す支援を行う必要がある。また、より多くの区民が芸術文化に触れる機会を増やすため、様々な角度から工夫を凝らし、新たな活動や発表の場を提供する必要がある。</p> <p>東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機として、外国人旅行者等の増加が見込まれており、外国人との相互理解を深めるため、様々な分野における国際交流を拡大する必要がある。</p> <p>区の伝統文化のすばらしさを保存・継承するため、伝統工芸者の育成支援、子どもたちへの伝統文化に触れる機会の提供、伝統工芸品の区民への周知を行う必要がある。</p>
今後の方向性	<p>区民が芸術文化に触れる機会の拡充を図るとともに、地域の文化資源の発掘と積極的な情報発信を進めていく。</p> <p>都市間交流など、国内外の交流を活発に進め、郷土や地域文化に対する誇りと愛情を深めるとともに、異文化に対する理解を促進していく。</p> <p>先人たちが創り育んできた伝統工芸や伝統文化の保存や継承に努めるとともに、新たな文化の創造を図り、伝統と革新とが調和した文化振興を推進していく。</p>

政策を構成する施策の分類

施策名	政策推進のための分類		分類についての説明・意見等
	29年度設定	30年度設定	
芸術文化の振興	重点的に推進	重点的に推進	芸術文化の力を区の施策に活用することにより、地域の活性化や区の情報発信力の強化を目指すとともに、区民が主体となる取り組みを推進し、より荒川区に根ざした芸術文化振興を図る。
国内・海外都市との交流の推進	重点的に推進	重点的に推進	国内外の各交流都市の地域特性を活かし区民主体の幅広い交流を行うことに加え、区内在住外国人の支援や区内における交流の充実を図る。
伝統的文化の保存と継承	重点的に推進	重点的に推進	区における文化財、史跡、伝統工芸技術の保存・継承において重要であり、引き続き推進する。